

令和4年度第3回「しがwebアンケートプラス調査」

(県内向け調査)の結果について

1 調査の目的

県政における喫緊の課題や重要事項について、インターネットを活用し適時迅速に県民の意識や意向を調査し、速やかに県の方針や県政運営に反映させるための基礎資料とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内在住の満 18 歳以上の個人
- (2) 標本数 500 人
- (3) 調査方法 インターネットを利用し、パソコン、スマホ等により回答するWEB調査
- (4) 調査期間 令和4年9月21日(水)～ 9月27日(火)
- (5) 調査会社 株式会社クロス・マーケティング

3 調査項目

介護の仕事に関する意識調査

4 主な調査結果

Q1 あなたは、あなたや家族に介護が必要となったとき、介護サービスの提供は重要だと思いますか。(回答は1つ)

※「介護サービス」とは、家族やボランティアで介護をしてもらうのではなく、介護を業とする事業所に介護サービスを依頼して、その提供を受けることを指します。

1 位:とても重要だと思う	50.8%
2 位:まあ重要だと思う	33.8%
3 位:わからない	10.8%
4 位:あまり重要ではないと思う	2.6%
5 位:重要ではないと思う	2.0%

・「とても重要だと思う」と回答した人は 50.8%と最も多く、次いで「まあ重要だと思う」の 33.8%となっており、重要と思う人は80%を超える。

・「とても重要だと思う」と回答した人は、年代が上がるにつれて、その比率が高くなり、特に60歳代では、59.8%となっており、親や自分の介護を身近に感じる層での比率が高いことがうかがえる。また、男女別では、女性が 56.0%と男性の 45.6%を10ポイント以上上回っており、女性の方が介護サービスについて敏感であることがうかがえる。

Q2 あなたは、介護職員を見たり、介護職員と話したことがありますか。(回答は1つ)

※ 「介護職員」とは、介護サービスを行うことを業務としている人(介護職)のことを指し、介護施設で勤務する医師、看護師、薬剤師、事務職員など、直接介護を行わない人は除きます。

1 位:ある(働いている姿を見た、画像や映像で見た、
知人が介護職員、なども含む) 54.2%

2 位:ない 45.8%

・「介護職員を見たり、話したことがある」と回答した人は 54.2%となっており、女性が 58.8%と男性の 49.6%を10ポイント近く上回っている。

・「介護職員を見たり、話したことがない」と回答した人は 45.8%と半数近くに上っている。

Q3 あなたは、近所(概ね自宅から5km以内)の介護事業所の所在地を知っていますか、また訪問したことがありますか。(回答は1つ)

1 位:(知っているが)訪問したことがない 45.6%

2 位:知らない 36.4%

3 位:(知っており)訪問したことがある 18.0%

・Q2 で「介護職員を見たり、話したことがない」と回答した人が半数近くに上っているものの、介護事業所の所在地を知っている人は、訪問の有無に関わらず、63.6%と、過半数を超えている。

・「知らない」と回答した人のうち、女性が 32.4%に対し、男性は 40.4%と、8%も高く、介護事業所が男性にとって認知度の低いことがうかがえる。

Q4 あなたは、自分の子どもや家族から「介護の仕事に就きたい」と相談されたらどうされますか。(回答は1つ)

1 位:本人の意思に任せる 71.4%

2 位:わからない 13.4%

3 位:賛成する 9.8%

4 位:反対する 5.4%

・「本人の意思に任せる」と回答した人が最も多く、71.4%となっており、次いで「わからない」の13.4%などとなっている。

・「賛成する」は 9.8%にとどまっており、積極的に賛同する人が少ないことがうかがえる。

Q5 Q4で「反対する」、「わからない」を選択された方にお尋ねします。どのような理由からですか。(回答はいくつでも)

1 位:体力的にきつい 44.7%

2 位:介護職のことをよく知らない 40.4%

3 位:精神的にきつい 36.2%

4 位:給料が安い 33.0%

5 位:労働時間が長い 22.3%

休日が少ない

7 位:勤務が不規則(夜勤があるなど) 17.0%

衛生面で不安

9 位:福利厚生が不十分 16.0%

10 位:経営が不安定 11.7%

11 位:雇用が不安定 9.6%

12 位：イメージが悪い 6.4%
やりがいいがない
資格や技術がない

15 位：その他 2.1%

- ・「体力的にきつい」と回答した人が 44.7%と最も多く、「精神的にきつい」の 36.2%、「給料が安い」の 33.0%、「労働時間が長い」、「休日が少ない」の 22.3%などとなっている。
- ・一方、「介護職のことをよく知らない」と回答した人も40.4%と多く、男女別では、女性が 31.8%なのに対し、男性は 48.0%と、16.2 ポイントの開きがある。

Q6 あなたは、「2025 年問題」および「2040 年問題」、あるいは、これらのうちどちらかを知っていますか。(回答は1つ)

※ 「2025 年問題」、「2040 年問題」とは、いわゆる「団塊の世代」がすべて 75 歳以上となる 2025 年、さらに、「団塊ジュニア世代」が 65 歳以上となる 2040 年まで高齢化が急速に進み、例えば、増大する介護ニーズに対して十分な人材が確保できないなどの課題を指します。

1 位:知らない(今回の調査で初めて知った) 36.4%

2 位:少し知っている 29.0%

3 位:名称は聞いたことがある 24.2%

4 位:よく知っている 10.4%

- ・「知らない(今回の調査で初めて知った)」と回答した人が 36.4%、次いで「少し知っている」の 29.0%、「名称は聞いたことがある」の 24.2%などとなっており、2025 年問題等の認知度が低いことがうかがえる。

Q7 滋賀県では、「滋賀県の介護をもっと身近に」をテーマに、介護の仕事の魅力を発信する「しがけあプロジェクト」に取り組んでいます。あなたは、「しがけあ」を知っていますか。(回答は1つ)

1 位:知らない(今回の調査で初めて知った) 85.4%

2 位:名称は聞いたことがある 8.6%

3 位:少し知っている 4.2%

4 位:よく知っている 1.8%

- ・「知らない(今回の調査で初めて知った)」と回答した人は85.4%と最も多く、次いで「名称は聞いたことがある」の8.6%などとなっており、「しがけあ」がほとんど知られていない現状がうかがえる。

Q8 Q7で「よく知っている」、「少し知っている」または「名称は聞いたことがある」を選択された方にお尋ねします。あなたが「しがけあ」という言葉を知ったきっかけは、どのようなことですか。(回答はいくつでも)

1 位:ポスター 34.2%

2 位:WEB情報(SNS、ニュースアプリ、ホームページなど) 32.9%

3 位:新聞・雑誌(ミニコミ誌含む) 30.1%

4 位:イベント 17.8%

- | | |
|----------|-------|
| 5 位:クチコミ | 11.0% |
| 6 位:その他 | 4.1% |
| 7 位:ラジオ | 2.7% |
- ・「ポスター」と回答した人は34.2%と最も多く、次いで「WEB 情報」の32.9%、「新聞・雑誌」の30.1%などとなっている。

Q9 Q7で「よく知っている」、「少し知っている」または「名称は聞いたことがある」を選択された方にお尋ねします。あなたが「しがけあ」を知ってから、介護の仕事に対する興味や関心はどのようになりましたか。(回答は1つ)

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 1 位:これまでと変わらない | 71.2% |
| 2 位:これまで以上に高まった | 13.7% |
| 3 位:これまでより低くなった | 11.0% |
| 4 位:元々興味も関心もなく(または、あまりなく)、現在も同じ | 4.1% |
- ・「これまでと変わらない」と回答した人は71.2%と最も多くなっており、次いで「これまで以上に高まった」の13.7%などとなっており、「しがけあ」の効果が限定的であることがうかがえる。

Q10 滋賀県では、介護職や福祉職専門の無料職業紹介所として、「滋賀県介護・福祉人材センター」を運営しています。あなたは、「滋賀県介護・福祉人材センター」を知っていますか。(回答は1つ)

- | | |
|------------------------|-------|
| 1 位:知らない(今回の調査で初めて知った) | 83.0% |
| 2 位:名称は聞いたことがある | 8.6% |
| 3 位:少し知っている | 7.0% |
| 4 位:よく知っている | 1.4% |
- ・「知らない(今回の調査で初めて知った)」と回答した人は83.0%と圧倒的に多く、「滋賀県介護・福祉人材センター」の認知度が非常に低い状況であることがうかがえる。

Q11 あなたは、介護職の勤務内容や勤務条件などを、もっと広く県民のみなさんに知っていただくためには、どのようなことをすればよいと思われますか。(自由記述)

・500人のうち349人の方(69.8%)からご意見をいただき、その主なものは次のとおりである。

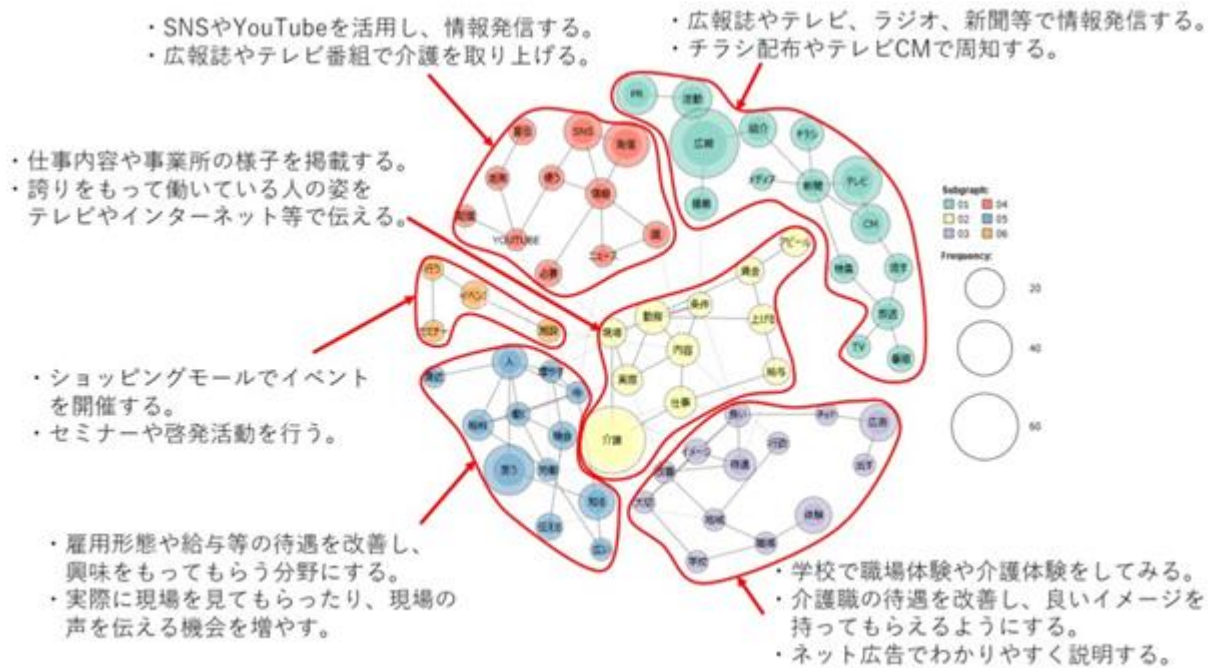
- | | |
|---------------------|-------|
| ・テレビ、ネット、広報誌などでの PR | 151 人 |
| ・イベント、現場訪問など | 39 人 |
| ・授業での取り入れ | 7 人 |

・他には、3人の方から滋賀県の観光大使である西川貴教氏に PR をお願いしてはどうかというご意見があった。

・また、質問の趣旨とは直接整合しないものの、給料引上げなど待遇改善をすべきとのご意見も35人の方から寄せられていることから、勤務条件等の改善も無視できない要素となっている。

・なお、特段のご意見がなかった151人の方のうち、「わからない」と記述された方は、95人となっており、そもそも介護という職業に馴染みのない人も相当数に上ることがうかがえる。

- ・自由記述でいただいたご意見の要約として共起ネットワークグラフを作成した。
共起ネットワークグラフは、一つの文章内で同時に出現(共起)するキーワード間に何らかの関連性があると仮定して集計し、出現頻度が上位のキーワード(点)と関連性(線)から成るネットワークグラフとして可視化したものである。



※語と語が結ばれている線は、共起性(文章の中で同時に使われやすい言葉)や関連性を表している。

※円の大きさは頻出キーワードの出現頻度を表している。